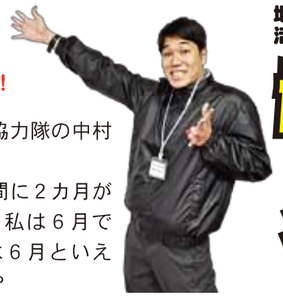
地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く！



今月の担当は りんね隊員です！

こんにちは、地域おこし協力隊の中村琳音です。

就任してからあっという間に２カ月が経ち、６月になりました。私は６月で23歳になります！皆さんは６月といえばなにを思い浮かべますか？

枕崎での2カ月を振り返って

私は幼い頃を鹿児島で過ごしましたが、枕崎に住むのはこれが初めて。出会う人出会う人が初めましての方々で、人と話す時は緊張して固くなることが多かったですが、周りの方々は明るく優しく話しかけてくださり、緊張が解けるのにさほど時間はかかりませんでした。

行く先々で自然の豊かさや人の温かさを身に染みて感じ、息苦しくなく過ごしやすい枕崎を改めて好きになりました。まだまだ仕事面では緊張することが多く、これから枕崎のために何ができるのか考え悩むこともありますが、こういった感覚を忘れず、初心に帰りながら活動していきたいと思います。

現在行っている活動

この2カ月の中でも、さまざまなイベントに参加させていただきました。枕崎の海岸をめぐる観光ツアーや、よかど鹿児島での特産品・観光フェア、お魚センターでのかつお節削り大会などなど。どのイベントもたくさんの方でとてもにぎわっていました。近いうちに、今度は主催者側としてイベント活動で枕崎を盛り上げていきたいです！

また、私はＳＮＳ等で枕崎の魅力を写真と文章をつけて発信しています。大学生の時に行っていた地域おこしの活動でも、カメラマンとして学生が活動する風景を撮ってはきましたが、しっかり仕事として情報発信のための写真を撮ることは初めてでした。しかし、撮りたくなるような風景が枕崎にはたくさん詰まっているので、写真を撮ることがさらに好きになりました。特に中原公園から眺めるお茶畑や犬の白浜から広がる海はまさに絶景で、撮る景色のどれもが色鮮やかに映るので撮っていて飽きません。文章面では、まだまだつたない部分が多々あると思いますが、少しでもうまくなれるように精進していきます！

これからさらに暑くなり、春の頃見ていた枕崎とはまた違う一面が見れると思うとワクワクします。一つ一つの瞬間を逃さずカメラに収め、その感動を多くの人に伝えられるようにしていきたいです。

４月からインスタグラムを開設しました！枕崎の魅力を発信していますのでぜひご覧ください！

RINNE.0621

市長コラム vol. 38

「木は見つつも森を見ることだけは忘れない」

「木を見て森を見ず」という言葉がある。辞書を引くと、「小さいことに心を奪われて、全体を見通さないことのたとえ」と書かれている。この「木を見て森を見ず」にならないことが仕事をしていく上で大切だと思っている。

私たちが、仕事をしていく上での「森」つまり目的は「枕崎市民の幸せの実現」であると常々、職員と共有している。その目的に向かって政策を実行していくのだが、政策を目の前にして議論をし、試行錯誤を重ねていくうちに、その政策を上手く進めることだけが目的となって、ついつい「森」最終的な目的を見失ってしまうことがある。「木」つまり政策はあくまで目的にたどり着くための手段であることを忘れてしまうのである。これを「手段の目的化」と言い、仕事をする上で最も避けなければならないことの一つである。

しかし人間というのは、木を目の前にしただけでどう枝葉を切り払うべきかで意見が分裂してしまい、言い争って、木は森の一部であることを忘れてしまうことがある。それが、今の世界の姿かもしれない。平和の樹立を最終目的とする人間社会にあって、このようなことが起こると国同士の争いにまで発展することすらある。

コストについても同様、目先のコストを抑えることだけに集中してしまい多大な将来コストを払わなければならなくなった、というようなこともよく目にする。これらを防ぐためには、将来を見通す知力、想像力も必要になってくる。「森」を見失わないためには、目の前の課題に少し距離を置いて物事を見ていくことも必要なのではないだろうか。

「木は見つつも森を見ることだけは忘れない」　常に、その気持ちで仕事に取り組んでいきたいものだ。

稚内通信 vol. 2

このコーナーでは、友好都市締結10周年を記念して、両市の広報紙で紙面交流を行っています。第2回目となる今月は、稚内市のプロフィール、特産品やみどころを紹介します。

“わっかない”ってどんなところ？

■プロフィール

稚内市は、北海道本土の北端に位置し、宗谷海峡をはさんで東はオホーツク海、西は日本海に面し、利尻礼文サロベツ国立公園をはじめとする豊かな自然環境が広がっています。年間の平均気温は約7℃で、夏は最高気温が22～28℃と涼しく過ごしやすく、冬は最低気温がマイナス10～14℃となり、宗谷岬の海には流氷が接岸することもあります。人口は約3万2000人です。

■特産品

オホーツク海と日本海の2つの海域が出会うことでもたらされる、豊かな漁場で獲れる海産物や、厳しい自然の中で育てられた農畜産物など、最北の食材の宝庫となっています。

利尻、礼文、稚内周辺で獲れる「利尻昆布」は、香りが高く、だし汁が澄んでいるので上品な味わい。昆布自体にも味があるので、おぼろ昆布やとろろ昆布等にも加工されます。

稚内の勇知地区で生産される「勇知いも」は、冷涼な気候で育まれることから、甘さの強いことが特徴。さらには、雪氷貯蔵施設で保管することで、果物並みの糖度となる品種もあり、スイーツの原料にも利用されています。

令和4年4月には、枕崎市の酒造会社により、「勇知いも」を使用したじゃがいも焼酎が製造されました。

▲稚内沿岸の昆布干し

▲勇知いも

▲じゃがいも焼酎 勇知

■みどころ

「日本最北端の地の碑」は宗谷岬の突端、まさに日本のてっぺんに建てられています。全国から多くの方が訪れ、観光シーズンには大きな賑わいを見せます。

宗谷岬の背後には、モコモコとしたなだらかな起伏が特徴の「宗谷丘陵」が広がります。この地形は氷河期に形成されており、今なお美しい地形を見ることができるため、北海道遺産に認定されています。

▲日本最北端の地の碑

▲宗谷丘陵の周氷河地形

宗谷丘陵の中にある「宗谷丘陵フットパスコース」の一部にはホタテの貝殻を敷き詰めた「白い道」が続いています。青い空と海、緑の草花と白い道のコントラストは素晴らしく、周辺に広がる風車群や利尻富士の景色も含め一見の価値があります。

▲宗谷丘陵フットパス「白い道」

問合せ　枕崎市総務課秘書広報係
TEL 72-1033
稚内市企画調整課広報・広聴グループ
TEL 0162-23-6387

スポーツ・文化イベント情報

南溟館

開　9:00 ～ 17:00
※入館は16：30まで

休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問　スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

女子硬式野球大会が開催されました（九州女子野球リーグ）

５月21・22日の両日、市営野球場で九州女子野球リーグが開催されました。

当日は神村学園（鹿児島）、秀岳館（熊本）、九州ハニーズ（福岡）、折尾愛真（福岡）の４チームが集い、熱戦を繰り広げました。

今後、地域おこし協力隊員による女子野球チームの創設も目標としていますので、ご声援をお願いします。

中村征夫写真展「海への旅」

海の中に広がる絶景と、いのちを育む個性ある生き物たち。その輝きと美しさに出会える写真展です。

●**会期**　７月10日（日）～９月４日（日）
※会期中無休

●**会場**　南溟館

●**観覧料**　一般1000円、大学・高校生800円、中学生以下無料